

NACCSプログラム変更要望 継続案件（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-002	貨物		管理資料情報取り出しの申告一覧データについて。	管理資料情報取り出しの申告一覧データについて。輸出申告一覧データの代表統番は6桁で出ますが、輸入の申告一覧データの代表統番は4桁です。	輸出申告一覧データの代表統番は6桁で出ますが、輸入の申告一覧データの代表統番は4桁です。監査用として許可書を見ながら4桁から6桁に手直しています。輸入も同じ桁数で出力されるように希望します。また、通関士コードで件数を確認しているため、出力条件を調整できるようになると助かります。	監査用資料作成の為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-003	その他		文字コードの追加希望	記事欄へのm3(立法メートル)の入力ができない。	記事欄へのm(立法メートル)の文字の使用を希望	自動車通関証明で車名で必要の時があるため。「m(平方メートル)」は入力可能なので、「m³(立法メートル)」も入力可能にしてください。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-005	海上入出港	DMF	DMF未登録時のワーニング機能追加	・現仕様において、所望する機能の提供はない。	DMF未提出の通知希望。	提出漏れを防止する為	継続検討（翌年度）
R07-006	海上入出港	MFR	MFRの一括削除機能 or ヤードの変更の手続き	・コンテナオペレーション会社コードを訂正する場合、当該項目に係るB/L情報及びコンテナ情報をすべて削除した後、再登録する必要があります。	輸入貨物の目録提出業務を行っております。社内で同一業務を行っている人が複数おりますが、本船の着岸がターミナルの混雑や船社都合でターミナルが変更になった時もしくは代理店の誤りでヤードを誤って登録した際、提出したMFRを全件消去して再入力するしか方法がないですが、一括削除ができるようにする。または削除して再登録ではなくヤード変更の手続きができるようにして頂きたい。		システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-007	貨物	CSN	貨物状況通知サービス	第7次NACCS更改より、「貨物状況通知サービス」ですが、今回、HDF業務、CDB・CDD業務の通知は、対象外との事でしたが、今後、是非、HDF業務、CDB・CDD業務の通知を検討して頂きたい。	現在、他社のHDF業務、CDB・CDD業務状況を知りたい時に、IGS業務より、検索するしかありませんが、いつ登録が完了しているのか判別がつかないので、1つのAWBの状況を知るためにIGSの検索を平均でも10回、多い時で、何百回と検索している場合があり、大変、コストがかかり、困っています。	業務効率化	継続検討（翌年度）
R07-008	貨物	新規管理資料	前日の輸出及び輸入許可になった申告の一覧がほしい。	前日の輸出及び輸入許可になった申告の一覧がない。現在審査区分一覧表では当日許可にならない場合は空欄となって使いづらいです	管理資料で、日々の許可件数をチェックしたいので前日の輸出許可及び輸入許可になった申告の一覧を配信希望。	業務改善の為	継続検討（翌年度）
R07-012	貨物	SHS/CHJ	仕分け作業について	誤った入力されても、登録ができてしまう。入力した海貨業者が訂正できない。	船社がNACCSに登録したMFR情報を海貨業者が仕分け作業時に、個数、Weight,m3等に誤りがあっても登録ができてしまいます。後から気が付いても海貨業者では訂正できず、ターミナルが訂正することが現状となっておりますが、元データから仕分けする際に誤りがあればエラーがでるよう希望。	仕分け業務の入力者が訂正できない。 →訂正可能とする →重量、容量について、総数のチェックを追加する。	継続検討（翌年度）

NACCSプログラム変更要望 継続案件（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-017	その他	パッケージソフト	パッケージソフトのキャンセル処理に関するプロロ 変	パッケージソフトの電文の送受信は、送信要求（送信の開始）から受信完了までが一つの機能（通信機能）となっており、キャンセルはこの通信機能を対象としています。 各処理（送信、受信待機、受信）を個別にキャンセル制御することはできていません。 なお、今回のお問い合わせのケースですと、送信中または送信完了処理中から受信待機状態になる間でキャンセルが行われておりません。	電文送信がキャンセル出来なかったにも関わらず、利用者側で処理結果電文を受信できず、結果2重送信となった。 【詳細】 利用者様が行った1回目の電文送信に対し利用者側で「キャンセル」した後、2回目の電文送信 ・1回目の電文送信の「キャンセル」が電文送信に間に合わずにNACCSに送信され、 NACCSからの受信以降の処理がキャンセルされた ・結果、2回目の送信とキャンセルできなかった1回目の送信とを合わせて2回の電文送信が行われた	2重送信防止のため、キャンセル可否について、利用者が分かるようにしてほしい。	継続検討（翌年度）
R07-019	通関	IDI	IDI業務で引き落とし未済の申告を一斉照会したい。	引き落とし未済を照会する業務がない。	IDI業務に、審査が終了しているが引き落とし未済で未許可となっている申告を一覧照会する機能を追加する。	引き落とし未済申告が一斉照会可能となる。	継続検討（翌年度）
R07-021	航空入出港	PNR01、 PLR01、 NLR01、 ADM01、 HDM01	フライトナンバーの桁数拡張	フライトナンバーは6桁	フライトの遅延等によりフライトナンバーの後ろにアルファベット1文字が付くことが御座います（例 ##6724 D）この場合、文字数が7つとなり例えば ##6724 D 便としての情報が NACCS 側に正しく届かないことが御座います。 つきましてはフライトナンバーのとして7文字であることは実際に御座いますので、正しいフライトナンバーで（7文字の場合も）JAPAN ACI に必要な電子情報が NACCS に届くように、NACCS でのフライトナンバーの最大文字数を現行の6文字から7文字への変更をお願いいたたく存じます。	フライトナンバーの桁数が7となることもあり、遅延便等は突発的に生じることもありNACCS に届かないことも有り得る。航空事前情報の報告が届かないことを防止する。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-023	通関	CHA	輸入許可後のHAWBに対するCHA（削除）業務を不可とする	許可後のCHA業務は削除のみ可能で新規登録及び追加は不可。 5次NACCS以前からの仕様。 HAWBの貨物情報のデータ保存期間は*7日(日祝除く)で起算日はCHA業務実施日	輸入許可が下りている貨物で、CHA業務の削除理由に誤ってデリートを入れて送信してしまった。 IAW業務で照会すると存在している状態だが、データベース上では消えてしまっている。 後続業務のOUT業務を実施することができず、結果的にマニュアルで台長記帳うえ搬出するという対応となった。	誤削除の防止と誤削除による後続業務への影響を防止し、適切な貨物管理を実現する。	継続検討（翌年度）

NACCSプログラム変更要望 継続案件（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-025	貨物		ACLの入力項目追加	現在、要望の項目がない。	ACLの入力項目追加 1. <選択式> 海上運賃の支払い方法：現金、クレジットカード、小切手、振込、与信、仕向け地払い、その他（例：口座引き落とし）等を選択 2. <選択式> ICS2 ファイリングの申告方法：F10、F11、F12、F13 を選択。 3. <記入式> 追加申告者の EORI 番号（顧客側で申告する場合） 4. <記入式> 荷送人、荷受人、着荷通知先の EORI 番号、種別（法人/個人/団体） 5. <記入式> 実際の買主および売主の詳細：名称、住所、都市名、州、国、郵便番号、EORI 番号、種別（法人/個人/団体） 6. <記入式> 化学品輸送のための ECICS CUS コード 7. <記入式> House BL レベルデータ	ICS2対応項目に関する項目について、海上輸送事業者（外航海運会社）への送信が可能となる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-027	海上入出港	VTX02,03等	netNACCSの使い勝手の向上	netNACCSの表示を最大化しても繰り返し部の右側の表示が途中で切れて横スクロールする必要がある。	右側にまだかなり余白が残っているので余白の部分ギリギリまで表示して欲しい。	視認性、操作性の向上	継続検討（翌年度）
R07-030	海上入出港	WIT	送信宛先と入港コードを紐付けて間違っただ宛先に送信出来ないようにしてもらいたい。	送信宛先と入港コードを紐付けされていないため、間違っただ宛先に送信を行うことが出来る。	船舶代理店で横浜港・川崎港などを扱う際、入港コード：JPYOK（横浜）であっても川崎税関宛に入港届を送信することが出来るため未然の予防策を講じて欲しい。	申請などの誤送信防止。	継続検討（翌年度）
R07-037	貨物	DCC	貨物情報をエクセルからコピーで張り付ける際に、全項目をまとめて貼り付けたい。	一件ごとに貨物情報（コンテナ番号、サイズ等）を入力しないといけない。		一件ごとに分けてコピー&ペーストをしており、入力に時間がかかる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-043	貨物	HPK	HCH業務未入力時のHPK業務実施	HCH業務が1度も実施されていない場合、HPK業務が1度のみ入力可能となり、SPLIT到着での2度目以降については、HCH業務後のみ登録が可能	HCH業務先行になっているものの、一部HPK業務が先行する場合があります、その際でもHPK業務が複数登録可能としたい。	貨物到着しているAWB番号に対し、NACCS登録が出来ていない場合がある。	継続検討（翌年度）
R07-044	貨物	ICG	貨物状況の通知範囲拡大の希望	貨物状況（特に、申告/許可状況、荷渡可能表示）について、現状はNACCS端末のみへの通知機能となっている。（ICG:貨物情報照会）	貨物状況の通知をNACCS端末に通知するだけでなく、登録したEメールアドレスへの通知も可能となるよう、検討してほしい。	貨物状況の確認が必要となる業務、部署、担当者が社内に多く散在しているため、NACCS端末への通知だけでなく、特定のメールアドレスで通知を受け取れると利便性が大きく向上します。	継続検討（翌年度）
R07-046	貨物	RSS	「通知先」を選択式にしてほしい	通知先が選択式ではない	蔵置場所と通知先の対比をプルダウン等で選択したい	A/Nに通知先コードが入っていないのでNACCS上でコンテナ引取予約を入れる際に都度、別表で確認（ICN等）入力している。	継続検討（翌年度）

NACCSプログラム変更要望 継続案件 (2026年度分)

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-049	通関	全コード	エラー内容について、エラーコードの表示ではなく、エラーメッセージを画面上で確認できるようにしてほしい	エラーコードをみて、そのエラーコードを検索して原因や対応策を確認する。	エラー内容について、エラーコードの表示のみではなく、エラーメッセージを画面上で確認できるようにしてほしい	エラーメッセージが画面上で確認できるようになることにより、都度エラーコード内容を検索・確認する作業時間の削減できる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-052	その他		常用漢字以外の入力があっても、帳票に出力できるよう対応してほしい（高など）	税関や関係省庁との連絡書の中で、常用漢字以外の場合、帳票が出力できない	連絡書で記入されている文字に、常用漢字以外が使用されていてもエラーにならないようNACCS仕様を見直してほしい	連絡書等の帳票がタイムリーに受け取ることができ、検査立会等の後続の作業が滞りなくすすめられる	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-053	通関	全コード	エラー内容について、帳票にもエラーメッセージを表示してほしい	エラーメッセージを表示するよう帳票を自社開発している。	エラー内容について、帳票にエラーメッセージを表示してほしい。	エラーメッセージが表示されることにより、都度エラーコード内容を確認する作業時間の削減および、エラーメッセージを表示するための自社開発作業がなくなる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-056	保税	IWH	【照会パターン番号：09】の照会可能時間帯の制限をなくす。	在庫一覧を一括で出力可能となる【照会パターン番号：09】の利用に22:00～08:00の照会可能時間帯の制限がある。	【照会パターン番号：09】の照会可能時間帯の制限をなくし、保税蔵置場の在庫確認・棚卸し作業の都度在庫一覧表の一括出力を可能にする。	ある保税蔵置場施設では、現在【照会パターン番号01】を利用して最大20回送信している。本来なら時間帯制限なしで一度に全ページを出力できる機能があれば良いのですが、【照会パターン番号09】には利用可能時間帯(22:00～08:00)の制限がある為に作業工程が増えている。保税蔵置場施設別の保税蔵置場施設別の時間帯の制限をなくす。	継続検討（翌年度）
R07-059	通関	AMA	修正申告履歴のアラート表示できる仕様	現在お客様により若しくは社内管理において確認出来れば過去のデータを取り出すのが、二度目若しくは複数回修正申告をしている事に気づかない時は当初申告と今回の修正申告という事と捉えてしまう	ひとつの申告において修正申告の履歴があることをアラート表示し、当初の修正内容を引用出来るようになると更にスムーズに適正な修正申告の対応が可能になる。	履歴が判明することにより、税関からも指摘を受けず、事前に顧客と話し合い正しく修正申告が実施できる。また税関との往復時間も短縮でき、二度手間にならない。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-060	通関	HYS	HYS業務のうち通関士審査が必要な手続きについて	HYS業務のうち通関士審査が必要な手続きについても、通関士IDでない場合も送信可能な仕様となっている。	通関士審査が必要なHYS業務（申請）については、通関士IDでない場合に送信エラーとなるよう仕様変更お願い致します。	HYS送信時にエラーとなれば、通関士が確認に要する時間の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思っています。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-061	通関	IAW	IAW等によって税関の審査開始時間等（進捗状況）が参照できる機能の追加	輸入申告において、審査区分が2・3等になった場合で許可までに時間が掛かる際、税関の審査状況等を確認する為、弊社から申告先税関へ電話による照会等をしております。	IAW等のNACCS照会業務によって、税関の審査開始時間等が参照できる機能や、MSX等で送信した添付ファイルに対する開封確認できる機能追加いただくよう仕様変更お願い致します。	弊社含めた通関業者から税関への電話による照会等が低減され、業務効率の向上（許可までの時間短縮）に寄与できると思っています。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望_継続案件（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-063	通関	IDA	IDA時のインボイス価格条件（建値）について、課税価格が自動計算されるインボイス価格条件（建値）の追加	IDA入力時において、課税価格が自動計算されるインボイス価格条件（建値）は「FOB」「C&I」「C&F」「CIF」の4種類となっており、それ以外のインボイス価格条件（建値）の場合、課税価格を自動計算させたいので、上記4種類のうち類似のコードを入力するが、この場合、実際取引の価格条件を「記事（税関）」欄に入力する必要あり。業務効率が低下する一因となっていることに合わせて換算し税関記事欄に明細を記載している。	例えば、「EXW」「FCA」等、使用される頻度の高いインボイス価格条件（建値）について、課税価格が自動計算される仕様への変更をお願い致します。 （可能であれば、上記以外の建値についても追加お願い致します）	誤申告等の更なる低減につながり、税関含めた関係者の無用な業務等の低減及び適正な輸入申告に寄与できると思慮いたします。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-067	通関	EDA	仕入れ書価格の通貨欄に複数の通貨コードを入力可能にして欲しいです。		輸出申告入力控えを作成する際、複数の通貨コードを入力可能にして欲しい。	手計算で換算し仕入れ書価格を算出するより、機械で計算の方が正確であり入力時間を短縮できる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-070	通関	IDA	海上の様に複数AWBを1申告にて対応できるようにしてほしい。	1AWB 1申告	IDAのAWB欄を複数欄に設定して欲しい	マニュアル申告となり、事前の税関への確認、納税手配等が発生し、これがNACCSで行えれば省力化につながる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-073	貨物	OLT BIN	海上貨物から航空貨物への切替時の仕様変更	CY等からCHG業務を行わずに搬出された場合、受け側の倉庫ではBIA業務を行い、汎用申請で海上貨物のデータ削除を依頼している。 合わせて、Air-NACCSにてBII業務を行い航空貨物として搬出を行っている。	CHG業務を行わずに搬出された場合でも受け側の倉庫で航空貨物に切替を行って搬入確認ができるようにしていただきたい。	航空貨物取扱倉庫側での業務簡素化が見込まれる。 （情報確認や汎用申請等の時間削減）	継続検討（翌年度）
R07-075	通関	IDA	輸入申告書に記載する納品先住所について	ローマ字表記のみ	所在地の住所表記を日本語も反映される様にしていきたい	誤記の削減と、自社システムの変換作業の軽減	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-090	通関	UTB	通関士登録/削除に際し、利用者コードごとにIDを切り替えて登録しなくてもよい方法にしてほしい	UTB登録時、利用者コードごとにIDの切り替えを行っている	事業所コード単位で、利用者コードを一覧で出し、登録・削除の作業を可能とする	IDの切替操作は煩雑で手間がかかり、登録誤りなどのリスクがある。 要望の実施により、上記内容を改善できる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-091	通関	UTB	通関士登録に際し、誤った証票番号の入力防止の機能を追加してほしい	他通関営業所に所属する通関士の番号でも登録できてしまう（エラーとならない）	通関士登録に際し、通関業監督官より発行された証票番号と利用者コードを税関側（NACCS側）で紐付け、紐づいていない通関士コードを入力した場合はエラーとなるようにする。	国家資格である通関士のUTB登録において単なる入力ミスで他通関営業所の通関士コードが利用できてしまう問題点がある システムの改善により、ミス防止、適正な管理につながる	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望_継続案件（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-097	通関	IDA,EDA	入力枠の文字数	現在：20文字 希望：30文字	入力枠の文字数について増やしてほしい (20文字の制限から30文字あたりまで)	現行の文字数では収まらない内容がある為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-098	通関	IDA,EDA,ECR等	使用禁止文字の拡大	使用出来ない文字の存在	_（アンダーバー）や*（アスタリスク）等、現在使用出来ない文字の使用可能な拡大を希望	通関書類上記載があっても、NACCSでは使用出来ない為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-100	通関	IDA,EDA	最終仕向地コードで反映される港の表示拡大	5桁の仕向地コードから名称が反映されているが、名称が切れている【添付資料あり】	表示が全て出るように拡大してほしい	こちらで認識している仕向地コードと異なる表記、あるいは切れた状態での表示の為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-105	海上入出港		内航船の出港届を出すときの呼び出し検索	船舶基本状況登録・入港前統一申請・出港届のみ	内航船の出港届を出すとき呼び出し検索で入出港届が出てこないの で増やしてほしい	入出港届と出港届を別々に入力している為誤送信の可能性がある。正しい情報と時間短縮	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-109	その他		禁止文字の扱い	第7次naccsでACL業務で今まで利用出来なかった・「_（アンダーバー）」、及び「~（チルダ）」の入力が可能となった。	ACL以外の業務でも同様に禁止文字を利用可能としてもらいたい。	禁止文字を統一することで、入力ミスにより間違えが減少する。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-113	通関	IDA,EDA	仕向人（輸出）・仕出人（輸入）の住所入力欄について	仕向人（輸出）・仕出人（輸入）の住所入力欄が四つ分かれている。	四つに分けないで一つにしてほしい。	住所をエクセル等からコピーしてIDA,EDAにペーストするときに、一回でできた方が早いので。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-115	その他	全般	EXC型帳票電文をパッケージソフトとメールボックスの2箇所に出力可能として欲しい。	6次NACCSではゲートウェイ(GW)配下用のパッケージソフトが提供されているため、GWサーバの設定により自社システムとパッケージソフトの2箇所に各種電文を出力している。業務担当者は帳票電文をパッケージソフトで確認・出力している。	INQ/EX2型と同様に、パッケージソフトとメールボックスの2箇所に出力可能として欲しい。 自社システム（メール処理方式）の電文出力設定機能強化でEXC型のみ除外されてしまったが、再検討いただきたい。	システムの後続処理で帳票電文を使っており、この宛先を自社メールボックスから変えるわけにはいかない。一方で業務担当者はパッケージソフトの機能で帳票出力、保管などを行なっているが、パッケージソフトで実装されている全ての機能を自社システムで網羅するのは非現実的なため。	継続検討（翌年度）

NACCSプログラム変更要望 継続案件（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-116	その他	全般	INQ/EXZ/EXC型の各種電文(処理結果通知等)をパッケージソフトとメールボックスの2箇所に出力可能として欲しい。	6次NACCSではゲートウェイ(GW)配下用のパッケージソフトが提供されているため、GWサーバの設定により自社システムとパッケージソフトの2箇所に各種電文を出力している。業務担当者は各種電文(処理結果通知等)をパッケージソフトで確認、必要に応じてリカバリー等をしている。	帳票電文のみならずそれ以外の電文についても、パッケージソフトとメールボックスの2箇所に出力可能として欲しい。	システムの後続処理で各種受信電文を使っており、この宛先を自社メールボックスから変えるわけにはいかない。一方で業務担当者はパッケージソフトの機能で全ての処理結果の確認、必要に応じてリカバリーなどを行なっているが、パッケージソフトで実装されている全ての機能を自社システムで網羅するのは非現実的なため。	継続検討（翌年度）
R07-118	貨物	SHS,CHJ	仕分け項目数の増加	20項目を超える仕分けが出来ないため、再度の仕分けが必要となる。	1度に30～50項目程度の仕分け可能な様に変更頂きたい。	業務効率の向上	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-121	貨物	ACL01	ICS2必要情報を記載出来る項目を追加してほしい	現在はメールにてお客様より必要情報を取得し手入力にて弊社システムに追記している	EORI#欄、Seller欄、Buyer欄、Filing type欄(F10,F11,F12,F13)、代行送信用House BL情報入力欄、危険品CUS code	BL作成の正確性、生産性向上が見込まれる	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-123	貨物	ACL01	品名欄とマーク欄の文字数制限の撤廃または拡張	現在は文字数に制限があり、制限文字数を超える場合には、入力不可となっている。	品名欄とマーク欄の文字数制限の撤廃または拡張してデータとして受信できる文字数を増やして欲しい。	現在の文字数制限により、入りきらない情報は別途アタッチシートで送付するという運用が一般的になっていますが、文字数制限を撤廃または拡張することで、ACLデータの正確性が向上し、アタッチメントによる提出に伴う不透明さが解消されることが期待できます。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-124	貨物	ACL01	米国向け貨物におけるHouse BL情報の送信許可	現在はACLに入力する項目が無いので、必要情報を荷主からメールにて取得している	米国向けの貨物について、House BL情報の送信を可能として欲しい	Actual Shipper及びConsigneeがデータ化されることにより、情報の正確性の向上が見込まれます	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-125	貨物	ACL01	ACL送信者のメールアドレスの表示	現在は送信者のID及びメールアドレスは入力箇所及び表示箇所が無い	ACL Senderのメールアドレスを表示できるようにして欲しい	システム内でのコミュニケーションと透明性が向上します	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-126	貨物	ACL01	コンテナごとの製品説明とマークの送信	現在は、貨物毎に品名欄及びマークを分けて送信することは可能ですが、該当コンテナを指定できない仕組み	コンテナごとに品名欄とマークを紐づけて送信できるようにして欲しい	コンテナ毎の品名が記載されることで貨物情方の正確性が向上します	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望 継続案件（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-127	貨物	ACL01	運賃支払条件の詳細な設定	現在はPrepaid もしくはCollectの選択のみ可能	Origin Charge, Sea Freight, Destination Chargeについて、それぞれ支払い条件を設定できるようにしてほしい	Invoice作成の正確性、生産性向上が見込まれる	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-130	貨物	EAM	積込港一括変更の変更	最大30件しか積込港が変更できない	最大件数を増加させるか、MAWBに紐づいている貨物全てを1回で積込港を変更させてほしい	1000件の積込港を変更する際に、送信業務を30回以上行わなければならない	継続検討（翌年度）
R07-135	通関	IDA	IDAの申告欄数の増加	1申告の申告欄数99欄まで	1申告の申告欄数を199欄まで増やしてほしい	アイテム毎・国毎に欄を分けて申告してほしいという要望の輸入者があり、99欄を超えることが多く、その際はデータ仕分けが必要となる為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-141	通関	IDA(SIS)	蔵入等承認申請入力控のタイトルの変更	蔵置場所へのIS申請なのか、別の保税地域への併せ運送なのか、入力控えではわからない	ISにおいて併せ運送の場合は、蔵入等承認申請入力控だけでなく、保税運送承認申告兼用の表示を頂きたい	蔵置場所へのISの意図のものが、手違いにより別の保税地域コードを入力/申告に至り、意図せず併せ運送IS申請となった	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-142	通関	EDA	仕向人住所欄が4つに分かれているがこれを1つの欄に統合し文字数を増やしてほしい	仕向人住所欄が4つに分かれている	1つの欄に統合し、4つの欄分の文字数にしてほしい	入力自動化の障壁となるため まだ自動化していないが毎月3000件以上輸出申告している	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-143	通関	EDA	入力情報特定番号欄の文字数増と日本語入力可能にしてほしい	10文字	30文字程度入力できるようにしてほしい。同時に日本語入力も可能にしてほしい	入力データ分類の為 弊社では一度送った事項登録などを再利用し新たな事項登録しているが、その分類に利用したい。 10文字ではちょっと少ない	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-144	通関	IDA	欄の追加(EXCELで言う行の挿入) ができるようにしてほしい	欄の追加はできず、訂正部分から入力し直し	1欄¥100 2欄¥200 3欄¥300と入力した後に、例えば2欄の計算をミスしており2欄を¥150と¥50に分ける場合、2欄を¥200から¥150に訂正、3欄を¥300から¥50に訂正、4欄に¥300を入力しなければならない	現状では間違っていない入力も追加で入力しなければならず、（左の例で言えば3欄の¥300を4欄に再入力しなければならない）その再入力を再チェックする必要がある。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望 継続案件（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-151	通関	IES.SEA	輸出申告等一覧照会（IES）出力項目へ輸出者名の追加	輸出申告等に係る未許可等の手続・許可状況を照会し確認しているが、出力項目に輸出者名はない。	出力項目に輸出者名を追加してほしい。	法人番号は出力されるが、輸出者名は出力されない。そのため、どの輸出者の申告が未許可なのか分からず、輸出入者情報照会「IIE」や輸出申告等照会「IEX」で輸出者名を調べ直す必要がある。輸出者名が出力されると他業務で照会する工数が削減され、業務料金も削減される。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-153	通関	IDA	合板（税表番号 4412.31-9122～9520、9181～9586/4412.33-9116～9934/4412. 34-9115～9933/4412.399106～9924）において申告書の製品名に厚みサイズが表示されるようにしてほしい。	4412.31-9111～9516はサイズが表示されている。	申告書類の品名欄に厚さの範囲が表示されるようにしてほしい。	内容チェックをする際に確認がし易い。（以前は表示されており非違回避の要因になっていた）	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-161	通関	EAA/EAC	訂正項目表示欄の増量	本船名、出航日などがあるが、コンテナ本数の訂正は項目がない	訂正項目のないものはその他欄に訂正後が出るようにしてほしい	EAB業務時の備考欄入力作業の削減と訂正箇所を確認がしやすくなる。	継続検討（翌年度）
R07-163	通関	I51	輸入一覧データに表示される修正申告の内容について	表示内容は修正申告完了日（納付日）、修正申告番号、官署、部門、輸入者名、申告種別、社内整理用番号、欄数、続枚数	通関明細簿に記載が必要な項目として代表税番、個数、単位、重量も表示されるようにしてほしい。また当初申告が分かるように当初申告番号の項目も追加してほしい。	修正申告後に一覧データへ追記する作業が軽減され、業務時間の短縮につながる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-164	通関	H01/I51	輸出及び輸入一覧データの各項目の取込みデータ（漢字・英数字）の後ろスペースを消す	取り込んだ各項目のデータの後ろにスペースが張り付いている。	輸出及び輸入一覧データの各項目の取込みデータ（漢字・英数字）の後ろスペースを消す。	各項目のデータに対してエクセル計算式等が"スペース"のために直接使えない。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-168	通関	IDA	共通管理番号の件数の補完	7次NACCSより「共通管理番号」が自動補完さるようになった。しかし「件数」は「自動保管」されない。	営業サイドからの連絡は「件数」と「共通管理番号」がセットであるので両方を自動補完していただきたい。	「件数」と「共通管理番号」が両方自動補完されると、営業サイドからわざわざ「件数」のみ連絡する必要がない。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-184	通関	IDA IDB	包括食品の番号も共通管理番号で紐付け出来ないでしょうか？	包括食品は手入力しなければならない。	包括食品の番号も共通管理番号で紐付けさせてほしい。	手入力によるミスを防ぐ、区分1の時に「1Y」となって都度MSXしなければならない手間をなくす。	継続検討（翌年度）

NACCSプログラム変更要望 継続案件（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-190	その他		オプション設定の「PDF自動保存」のファイル名の項目追加。	[利用者コード][出力情報コード][サブジェクト][日付時刻]の4つが現在のファイル名の項目。	オプション設定の「PDF自動保存」のファイル名に[社内整理番号]を選択候補に増やして欲しい。OLA(保税運送)等のように[社内整理番号]の入力欄がない業務については、ファイル名に[社内整理番号]が付かない仕様で問題ありません。	許可書等をPDFで自動保存して社内サーバーに保存する際に、[社内整理番号]がファイル名にあると社内システムとの連動が容易になる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-191	その他		EXC電文の出力先	設定した論理端末からしか出力されない	申告（申請）した端末から出力していただきたい	OLTの承認・関税等のリアル口座振替通知情報等を申告端末から出力したほうが効率よい。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-199	貨物	IWH	照会パターン番号「01」での照会で最終画面に画面遷移出来るようにして頂きたい	照会パターン番号「01」の場合には、1画面ずつの展開となり、数十回の画面展開をする必要がある	最初から最終画面の展開が可能となるようにして頂くなど、1画面ずつの展開以外の方法で蔵置量が確認出来る手段を構築して頂きたい	業務改善の為	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-201	貨物	-	管理資料電文「S14 航空輸出貨物搬出入データ」への項目の追加	個数/重量/仕向地の情報が無い状況にて貨物情報が表示される	個数/重量/仕向地の情報が追加されることにより、過去の在庫状況について確認が実施可能となる	過去の在庫状況について確認が実施可能となる	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-208	通関	HBB	NACCS利用顧客社名変更時の包括保険扱い関係画面への新社名自動反映	保険会社がHBB処理（空登録）を実施してはじめて新社名が包括保険関係画面に反映される。	保険会社処理がなくても、NACCS利用顧客の社名変更を包括保険関係画面へ自動反映させる。	社名変更は保険会社側で気づけない場合が多く、顧客からの変更要請に頼らざるを得ない。顧客、保険会社双方の負荷を軽減したい。	継続検討（翌年度）
R07-218	通関	HBB	期日指定反映予定の情報を、保険会社でも事前に変更手続きできるよう改善	社名変更など、JASTPROコードの修正情報がNACCSに連携される際、変更日以降に保険会社はNACCSの変更手続きをしている。	NACCS上、保険会社も期日指定して変更手続きが事前に行うようにしてほしい。	事前に作業できることで、業務失念を防ぐことができる。	継続検討（翌年度）
R07-220	通関	HHA	包括保険番号の削除機能追加	使用しなくなった包括保険番号は輸入者（通関業者）にて適用終了年月日を登録いただくが、登録前に輸入者コードが削除されると、包括保険番号が削除できず残り続ける。	輸入者コードが削除された包括保険番号は、保険会社で削除できる機能を追加してほしい。	使われていない包括番号が、永久的に保険会社の包括保険一覧照会画面に残り続けるため。	継続検討（翌年度）
R07-225	貨物	PKI.CLR	取得した積コンテナリスト、卸コンテナリストの情報を登録された代理店コードへ配信して欲しい。	機能なし	卸コンテナリスト、積コンテナリストを船会社または代理店へ送付しているが、メール送信やファクス送信で行う必要がある。PKI や CLR 業務に通知先を加えて欲しい または船社ごとに登録された利用者へ配信して欲しい	別途手動で送付するのが手間である	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。

NACCSプログラム変更要望 継続案件（2026年度分）

2026/3/31

項番	業務区分	業務コード	要望の概要	現在のシステムの仕様 現在の運用【必須】	要望の詳細	理由・効果	検討結果
R07-226	海上入出港	ICG	「輸出許可内容変更申請」の状態が申請中か承認済みかICG 上わかりにくい	指定情報DCLで照会を行えば「許可内容変更申請進行表示」がある。全体情報TTLでは許可変更の番号(-1)に変わっており、許可日が入っている。全体情報照会では承認済みの状態と見えてしまう。	通常は全体情報のみ確認しており、敢えてDCLで照会はしない。全体情報で内容変更の状況（申請中/承認済）が確認できるようにしてほしい。	承認済みと誤認し、申請中の状態で搬出を進めてしまう恐れがある	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-228	その他		禁止文字を減らして欲しい。	禁止文字が入っていた場合ACL送信時情報が削除される。	禁止文字を減らして欲しい。	訂正行為が減ります。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-232	貨物	G01,G02	「G01. 輸入貨物搬出入データ」及び「G02. 輸出貨物搬出入データ」の改善	左記CSVを表計算ソフトで表示する際、品名等に特殊記号があれば、セルが分割される。	第7次NACCSにおいて改善された管理資料「H01輸出申告一覧データ」と同様に改善する。	保税台帳としている左記CSVを集約し、表計算ソフトで点検する際の不便を解消する。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-233	貨物	なし	IS承認後の海上貨物管理をNACCSで行うか否かを個別に選択可能とする。	IS承認後の海上貨物管理は、保税蔵置場毎に、NACCSで行うか否かを選択できるが、貨物管理番号（B/L）単位で選択することができない。	個々のIS承認申請時に以後の貨物管理をNACCSで行うか否かを選択できるようにする。	IS承認後の仕分、通関等が単純なものはNACCS管理、複雑なものはマニュアル管理とすることで利便性を向上させる。	システムの改修規模が大きいため（改修経費が高額、自社システム影響が大きい案件等）継続検討（翌年度以降）。
R07-244	海上入出港	WPTまたはVPX	入港通報取消時の確認に関して	共通クライアント(VPX)→タブの「区分」から(1取消)を選択して送信 / WebNACCS(WPT)→「訂正・取消」から選択して送信	フェイルセーフの観点から①送信前に「本当に取消して宜しいですか？」等のポップアップを出して欲しい / ②取消した通報内容に関して、取消の取消を行う一定の猶予期間が欲しい（この期間内であれば新規の再通報ではなく、変更扱いでそれまでの通報を受理した扱いにして欲しい）	変更と取消がほぼ同じ画面で判別がしにくく、誤操作で取り下げてしまう恐れがある為(共通クライアントはプルダウン上で取消と変更が隣接している為更に誤操作のリスクが高い)	継続検討（翌年度）
R07-249	海上入出港	WEB NACCS各種手続き	寄港地コード、寄港地名入力	"寄港地コード"を一覧参照から選択すると、寄港地名も自動反映される。	新しいWEB NACCSは、"寄港地コード"を一覧から選択しても寄港地コード、寄港地名は反映されない(クリップボードにコピーされるのみ)ので自動反映するようになってほしい。	寄港地名の手入力の手間を省くため。	継続検討（翌年度）